

4. 埋立に関する安全性について

- ・環境省の個別評価結果について、大阪府の検討会議で放射線の専門家により、再度、技術的に検討されました。

《評価結果の概要》

(単位：ベクレル/L)

工 法	埋立地の残留水面での放射性セシウム濃度	ピーク出現年数
①通常の埋立工法 (ゼオライトなし)	検出下限値以下 (計算上は5.39)	166年
②ゼオライト敷設工法	検出下限値以下 (計算上は0.172)	243年

-97%

↓

※最大濃度 2,000 ベクレル/kg の場合の評価

- ・今回は、北港処分地（夢洲1区）において、②ゼオライト敷設工法を採用することで、安全性の確保に万全を期してまいります。
- ・計算上の数値で見ても、飲料水の新基準 10 ベクレル/L を下回っています。
- ・なお、受け入れる焼却工場については、北港処分地（夢洲1区）に近接する舞洲工場とします。